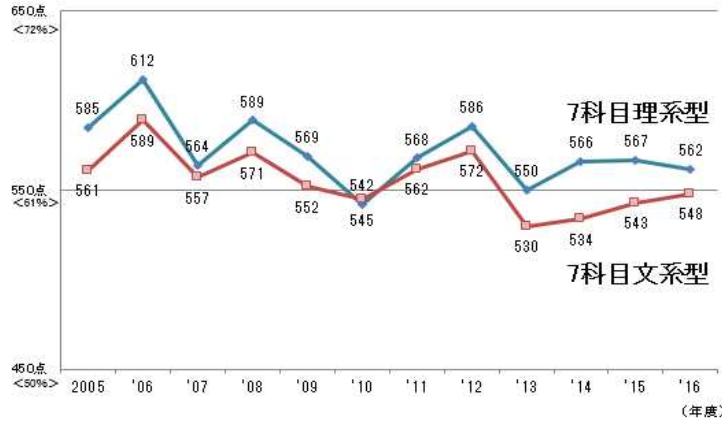


# 2016年度小山高等学校入試結果総括

信じる Trust! 育てる Foster! 支える Support! 進路指導部

## 大学入試センター試験

センター試験 7科目型平均点の推移



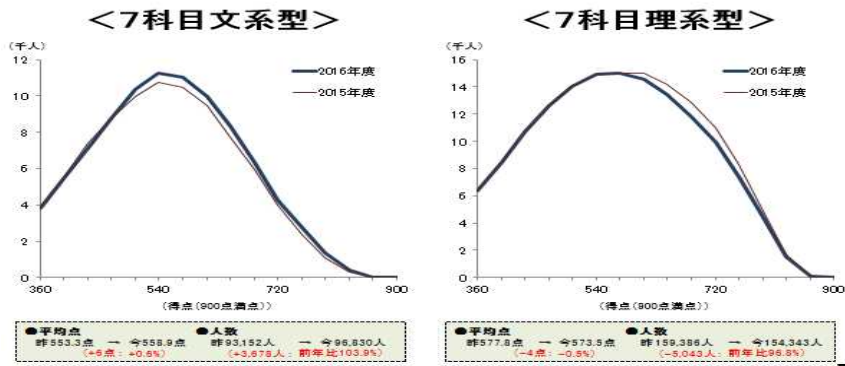
教科・科目	昨年	今年	差
英語(筆記)	116.2	112.4	-3.7
英語(リスニング)	35.4	30.8	-4.6
数学 I・数学 A	61.3	55.3	-6.0
数学 II・数学 B	39.3	47.9	+8.6
国語	119.2	129.4	+10.2
理科 ①			
物理基礎	31.5	34.4	+2.9
化学基礎	35.3	26.8	-8.5
生物基礎	26.7	27.6	+0.9
地学基礎	27.0	33.9	+6.9
理科 ②			
物理	64.3	61.7	-2.6
化学	62.5	54.5	-8.0
生物	55.0	63.6	+8.6
地学	40.9	38.6	-2.3
地産・公民			
世界史 B	65.6	67.3	+1.6
日本史 B	62.0	65.6	+3.6
地理 B	58.6	60.1	+1.5
倫理政治・経済	59.6	60.5	+0.9
現代社会	59.0	54.5	-4.5
倫理	53.4	51.8	-1.6
政治・経済	54.8	60.0	+5.2

## 【全国概況】

●受験人数+5千人増 ●現役+7千人 ●既卒-2千人減。  
 【平均点】昨年より文系と理系の差がさらに縮まった。  
 【難化】数学 I・A、リスニング、化学基礎、現代社会  
 【易化】国語、数学 II・B、生物

## 得点分布分析

センター試験 7科目受験者の得点分布



【5教科文系】平均点は558.1点と昨年+5.5点上昇に伴い、530点以上の層が増加し、分布が右寄りに。

【5教科理系】平均点は577.2点と昨年-4.4点。平均点がダウンしたことで、文系とは対照的に、570~850点の層が減少した。

## 国公立大学入試

国公立大の志願状況①

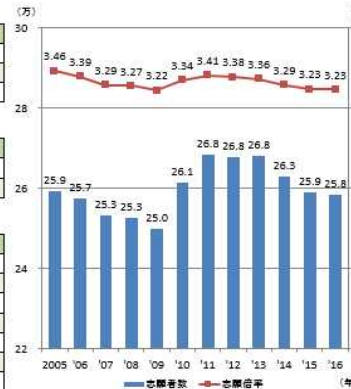
国公立大志願者数の変化

全体概況	2015年度	2016年度	前年差	前年比
前期日程	258,870	258,192	-678	100%
後期日程	189,398	186,119	-3,279	98%
中期日程	26,278	27,333	1,055	104%

国立・公立別(前期日程)	2015年度	2016年度	前年差	前年比
国立大学	198,855	198,011	-844	100%
公立大学	60,015	60,181	166	100%

地区別(前期日程)	2015年度	2016年度	前年差	前年比
北海道	12,974	13,090	116	101%
東北	21,135	21,227	92	100%
関東・甲信越	78,594	77,777	-817	99%
北陸・東海	32,493	33,639	1,146	104%
近畿	42,600	42,755	155	100%
中国・四国	36,602	35,211	-1,391	96%
九州	34,472	34,493	21	100%

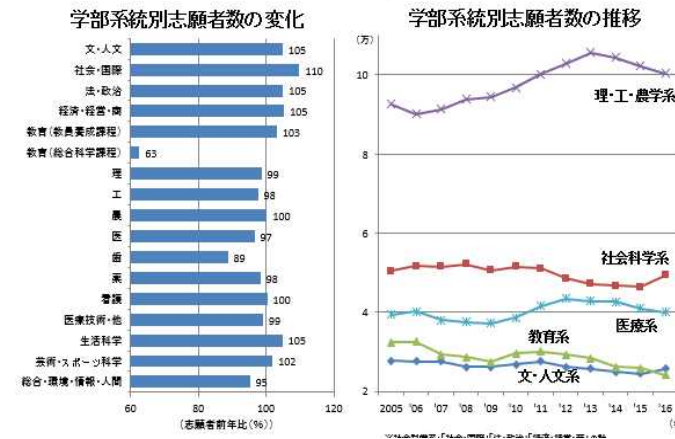
前期日程志願者数の推移



- ①国公立大志願総数 昨年とほぼ同じ横ばい 国公立人気継続
- ②前期：平均倍率3.1倍 【昨年より増加】山形・福島等 【昨年より減少】茨城・埼玉等
- ③中期：昨年同様、志願者増傾向が継続  
 □平均倍率：4.0倍 【昨年より増加】高崎経済・会津・秋田県立等 【昨年より減少】岩手県立・前橋工科・埼玉県立等

## ④学部系統別

国公立大の志願状況②(系統別の状況)



## □後期欠席率56.1%上昇傾向続く

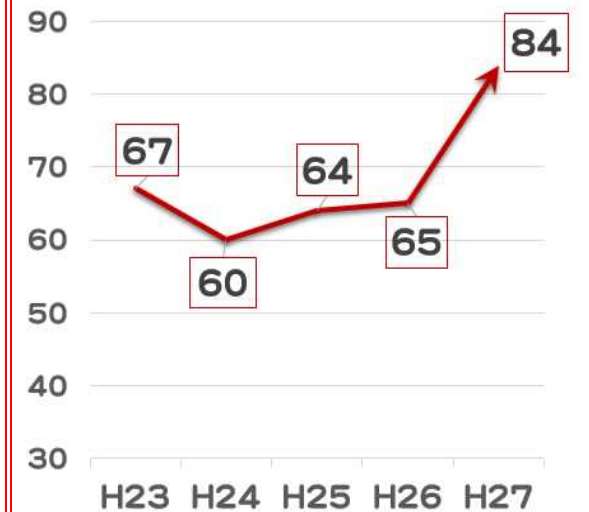
新教育課程の受験生は最後まで粘りきれない弱さが今年も目立ち、後期欠席率は上昇傾向が続いた。ただ本校は、ほぼ全員前期で今年は合格したため、後期合格者はいなかったが、例年本校生徒は最後の後期まで頑張り切り厳しい判定でも逆転合格する生徒が10人程度いる。やはり後期まで頑張り切ることが、国公立合格の鉄則である。



## ◆国公立大学概況(本校)

- ◎84名合格大躍進！！
- ◎3カ年計が213名合格！！
- ◎宇都宮大学に16名合格！！
- ◎推薦・AO入試 52名出願して、26名合格！！ 合格率50% 全国平均30%の1.7倍と大きく上回り、高い合格率！！ 《参考》昨年15名(合格率50%) 一昨年12名(合格率40%)
- ◆宇都宮大学:7名出願して、5名合格！！【合格率約71%】

## 国公立大学合格者数



今年の卒業生は、学年団によるベストな低学年時指導が徹底していたことにより、学習習慣や確立し意識の高い生徒が多く、3学年になっても失速することなく維持、受験にうまく突入、最後まで学校を信じて頑張り切れたことが成功の大きな要因。

## ■国公立大学合格者数上位ランキング

①宇都宮大	16 (昨年10)	②福島大	11 (昨年2)	③群馬大	6 (昨年5)	④茨城大	5 (昨年8)
-------	-----------	------	----------	------	---------	------	---------

# ■難関名古屋大学・千葉大学等に合格！！

【難関国公立大学】名古屋大学（1名）・千葉大学（3名）  
弘前大学医学部臨床検査（1人）、計5名合格

《参考》2012年度 5名【東北2・お茶の水女子1・筑波2】  
2013年度 4名【東北1・東京農工1・首都大東京1・筑波1】  
2014年度 5名【筑波2・東京農工1・東京学芸1・横浜国立大1】  
今年度も昨年度並に難関大に志願者が集まり実質的に難化の中、健闘した。

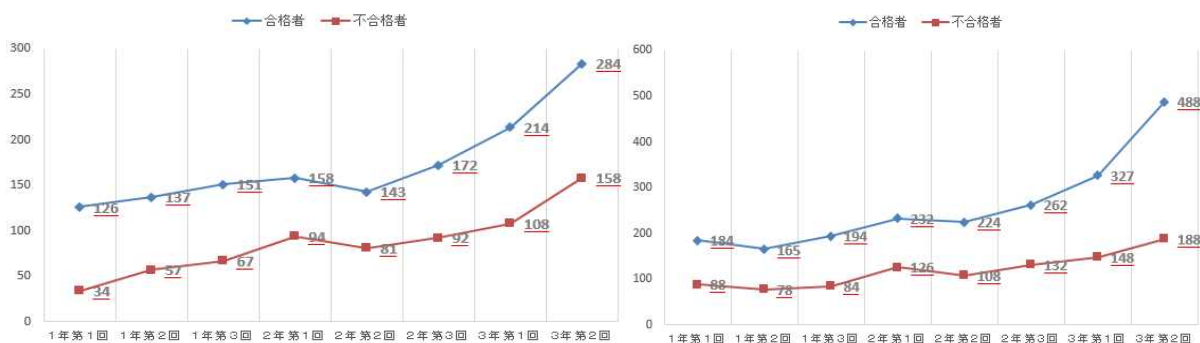
■校内模試との相関は明確【5教科7科目900点満点】※過去6ヶ年の分析

- ◎国公立大学合格者校内模試平均 385.2点(得点率42%)
- ◎宇都宮大学合格者校内模試平均 385.4点(得点率42%)
- ◎難関私立大合格者校内模試平均 281.1点(得点率47%)

◎国公立大学合格者《学習時間と教科数》との相関大  
正に本校生の実のDataなので、下記の合格者と同じように学習すれば合格できる  
可能性が高いと推察！！

国公立大学学習時間【平日】分析

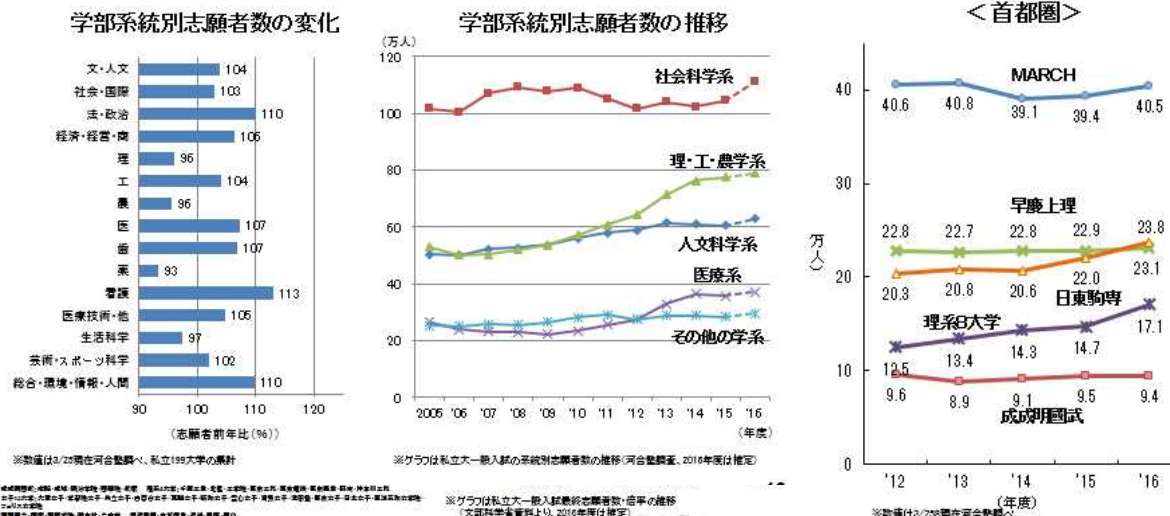
国公立大学学習時間【休日】分析



- ◎1日学習する教科数
- 【平日】できれば1・2年生：3教科  
3年生：□5教科型 4教科以上 □私大型 受験教科
  - 【休日】1年生：4教科、2年生：5教科  
3年生：□5教科型 5教科以上 □私大型 受験教科

# ■私立大学入試

私立大の志願状況②(系統別の状況)



①私大の志願者数は前年比104%と増加。国公立大とは対照的。新課程移行後、センター試験の理科の科目負担が重くなっているため、国公立大を敬遠して私大を受験する動き。また私大では、一人あたりの出願校数を増やす仕組みを導入する大学が増加している。これが私大総志願者数増加につながった。

②国公立大同様、文系不人気は終わりを告げ、「文高理低」へと変化し、今年度はそれが加速した。「人文科学」「社会科学」とともに志願者は増加した。なかでも法学系の志願者増が目立つ。理系では「理」「農」で志願者が減少した。また「工」は104%と志願者は増加しているが、私立大全体が104%であることを考えれば、以前の勢いは感じられない。③首都圏では、「早慶上理」では志願者数に大きな変動はない。「MARCH」「日東駒専」は志願者は増加傾向。

# ◎合格者数(延べ)383人！！例年より大幅増！！



■難関有名私大計28人合格↑ 《昨年》18人 《一昨年》15名

学習院	3	明治	2	立教	4	青山学院	1
法政	1	東京理科	5	関西学院	2		

■中堅私大計165人合格↑ 《昨年》104人 《一昨年》83名

東洋	57	日本	14	駒沢	13	帝京	11	東京電気	11
----	----	----	----	----	----	----	----	------	----

文教	9	専修	8	東海	7	二松学舎	7	芝浦工業	6
国際医療福祉	6	成城	4	東京家政	2	成蹊	2	北里	2

日大・東洋・駒沢・専修等の中堅人気大学の合格者数が増加は、嬉しい評価。  
※このレベルの層の大学の合格者数は、昨年、例年よりも急減に増加。

## ■私立大学合格者数上位ランキング

①東洋大	57 (昨年32)	②白鷗大	42 (昨年45)	③日本大	14 (昨年17)	④駒沢 千葉工	13
------	--------------	------	--------------	------	--------------	------------	----

※今まで1位だった白鷗を抜いて、今年度初めて東洋大学が1位になった。

## ■推薦・AO入試について

◆国公立大学52名出願して、26名合格！！【合格率50%】  
全国平均30%の1.7倍と大きく上回り、高い合格率！！

◎特に今年は、センター有推薦等、例年より推薦出願者が多かったことが、例年より合格者が大幅増になった原因！！  
《参考》昨年15名(合格率50%)、2年前12名(合格率40%)

◆宇都宮大学:7名出願して、5名合格！！【合格率約71%】

宇都宮大学	5名	群馬大学	3名	秋田大学	3名
山形大学	3名	新潟大学	2名	弘前大学・医学部保健	1名

◆私立大学66名出願して、51名合格！【合格率約77%】  
指定校推薦は内39名

小高生の素直・謙虚・実直な人柄は、大学等から高く評価されるので、本校はAO・推薦はとても有効な戦略！！希望校であれば、積極的にチャレンジ！！

## ■AO・推薦入試

- ◆国公立大学(全国傾向):「医」「歯」「薬」減少。「看護」は前年並
- ◆私立大学全国傾向:「医」「歯」では志願者が増加、「薬」は減「看護」は新設された影響もあり、志願者が増加。
- ◆本校は、例年の2/3程度の出願で、少なかった。
- ◆国立大学医学部(臨床検査)・自治医大(看護)・北里大(放射線)合格！  
【国立大学】弘前大学(臨床検査科学専攻) 筑波技術大学(理学療法)  
【公立大学】愛媛県立医療技術大学(看護)  
【私立大学】自治医科大学 獨協医科大学 国際医療福祉大学等  
【看護専門学校】獨協医科大学看護専門学校  
◎近年本校生は特に放射線の人気が高い。難化した。

## ■就職 3名【公務員2名(小山市消防・石橋消防)・企業1名】

■浪人19人 《参考:昨年12人、2年前24名,3年前25名》

### 今春、名古屋大学に合格した先輩から。

小山高校の先生方は、生徒一人一人ときちんと向き合い、真摯にご指導して下さいます。私がこうして目標とする大学に合格することが出来たのも、先生方や、励まし、支え合う友人たちがいたからこそだと考えています。中学時代は、それほど上位ではなかったのに、高校に入った当初は国立大学進学なんて夢のまた夢だと思っていました。しかし、先生方や友人達と積み重ねてきた3年間のおかげで、現在の私があります。正直、自分自身が一番驚いています！自分で自分の限界を作ることなく、必死に努力すれば結果は必ずついてきます。小山高校は、自分を高めることの出来る環境だと思います。みなさんも是非、小山高校で悔いのない高校生活を送ってください！

## 1 進路指導部の指針

◎「行き先」指導ではなく、「生き方」指導

「生徒のモチベーションを上げる」仕掛ける・攻めの進路指導  
「信じる」Trust! (生徒の可能性を信じる！)  
「育てる」Foster! (生徒のモチベーションアップを図り、夢を育てる！)  
「支える」Support! (生徒と最後まで付き合い、全力で支える！)

## 2 効果的な進路指導のための 2つのキーPoint

(1) キーその1～ 3年間の指導方針を明確にして指導する

◎全学年：基礎・基本の徹底・自主学習能力の育成  
朝学【毎日40分×約600日(3年間)＝約400時間以上】

<1年次進路指導>  
職業理解、大学理解  
→→文理選択決定  
※主な行事：職業講話(6月)・1日大学見学会等(10月)

<2年次進路指導>  
学部・学科、入試制度、大学に行く意義の理解を深め目指す進路目標(行きたい大学等)の決定  
※主な行事：学部学科説明会(7月)・大学教授による講演(9月)

<3年次進路指導>志望進路の実現

(2) キーその2～

小山高校は、高校入学後から卒業までに、生徒のよさ・能力・力を最大限引き出し伸ばすことに、最も得意で、実績のある学校です！！

**仲間の声を力にし、チーム小山の意識を高める！**

- 「**受験は団体戦！**」**仲間の声を力**(*One for all ,All for one*)  
**みんなで頑張る雰囲気・仲間への「気づき」が生徒を成長！！**  
→「**チーム小山**」の意識

### **3 今後、進路受験の情報提供について**

**PTA支部懇談会・各学年部会時進路説明会等で、最新情報と入試等について説明しますので、是非ご参加ください！！**

○受験はやはり苦しいです！ただ、子どもがこれから社会を生き抜き、幸せになれる人間力を強く身付けさせることができる、とても貴重な体験になります！だからこそ、この受験を子ども達にとって必ずや成功体験にして、希望進路実現させるために、子ども・教師・保護者との相互理解・協力による連携・協力による総合力(絆の力)が、最も重要な原動力となりますので、今後とも、最大限のご理解、ご協力を賜り、是非一緒に受験を乗り切りたいと思いますので、何とぞよろしくお願い申し上げます！！

**信じる Trust！ 育てる Foster！ 支える Support！ 進路指導部**